

学習会



横須賀市の 原子力艦事故 防災対策を問う



講師◎高野聡さん

● 静岡生まれ。5歳で横須賀に引越。2011年から3年間、ソウルの脱原発団体「エネルギー正義行動」で活動。日韓の運動論比較の視点を形成。2015年から現在まで韓国の大学院でエネルギー政策や社会運動論、熟議民主主義を学ぶ。ソウル大学環境大学院博士課程修了。2021年末に帰国。2022年2月から原子力資料情報室で活動。横須賀の社会運動にも合流。

原子炉を2基積んだ原子力空母が、米海軍横須賀基地を母港として15年となります。来年には、原子力空母がロナルド・レーガンからG・ワシントンに交代し、配備の恒久化が懸念されます。

横須賀の中心市街地から至近距離に停泊する、原子力空母や原子力潜水艦。原子炉事故に備えて、横須賀市は地域防災計画に原子力艦事故対策編を設けて、毎年原子力艦事故防災訓練を行っています。本場に原子炉事故の時に、私たちは市民の安全を守るのでしょうか。

原発問題の専門家である原子力資料情報室の高野聡さんから、横須賀市の原子力艦事故防災対策の問題点を報告して頂き、これからの私たちに必要な情報は何か、どう行動できるかを意見交換します

6/17 **土**

ヴェルクよこすか・3階会議室

(京急横須賀中央駅下車)

13:00開場・13:30開会

参加費●無料

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

〒238-0008 横須賀市大滝町1-26 清水ビル3階

横須賀市民法律事務所方 電話:046-827-2713 FAX:827-2731